

【 突発性難聴 】

佐藤耳鼻咽喉科医院 佐藤良寛 先生

ある日突然聞こえが悪くなる、突発性難聴と呼ばれる病気があり、治療開始時期が早いほど治る確率が高いと言われています。

急に聞こえが悪くなる状態を急性難聴と言い、原因が不明なものを突発性難聴と言います。原因が判明すればその原因に従った病名がつけられます。

男女差はなく、男性は60歳～64歳、女性は55歳～59歳をピークとして年々増加傾向にあると言われています。

症状は通常片側の突然の難聴であり、めまいを伴うこともあります。たとえば、三日前に突然片側の耳鳴りが出現、それとともに耳がつまった感じがし、聞こえが悪いことに気づいたという訴えです。

検査及び診断は、突然の難聴、原因不明の2つの項目を確認することです。つまり、純音聴力検査、MRI、血液検査等を行います。聴力検査で難聴を、その他の検査で明らかな異常がないことです。

なお、急性難聴の原因としては、ウイルス・細菌などの感染、聴神経腫瘍、糖尿病、腎不全、脳循環障害、メニエル病、ストレス、外傷などです。

治療はまず安静、次に薬物療法としてステロイド、循環改善剤、ビタミンB製剤等の使用です。めまいを伴っている場合、抗めまい剤、制吐剤が使われます。

また、治療開始の時期は、1週間以内に行われると回復がよいと言われています。「聞こえが変だな」と感じた方はなるべく早く受診してみてください。

最近はインターネットを利用する方が多くなっていますが、そこに突発性難聴を扱ったホームページもいくつかあります。アクセスしてみたいかがでしょうか。ちなみに[「とつなん日記」](#)というホームページは親切でわかりやすく、おすすめです。
